

市が奨励金

利用者の生活機能改善

デイサービス 10事業所表彰

岡山市は21日、通所介護の利用者に対して、日常生活機能の改

善で成果を上げた事業所を顕彰する「デイサービス改善インセンティブ事業」で、2016年度分として市内の10事業所を表彰した。

市役所で表彰式があり、大森雅夫市長が「模範となる改善をしてもらい、ありがたい。健康寿命の延伸につながるシステム（の創設）を国に訴え、市として

も取り組む」などあいさつ。各事業所の代表に賞状と奨励金10万円を手渡した。

出席したデイサービスセンターかなおか（東区金岡東町）の片



大森市長（手前）から賞状と奨励金を受ける事業所の代表ら

岡尚子管理者は「状態を改善するには職員の意欲やスキルアップが必要。事業で施設のレベルアップにもつながった」と話していた。

同事業は、在宅介護を充実させる国の総合特区事業の一環で、要介護度が下がると事業所の介護報酬が減る矛盾の解消を狙いに14年度にスタート。16年度は72事業所が参加し、寝返りや衣服の着脱といった機能の改善度を点数化して市が奨励金の交付先を決めた。

参加事業所は市のホームページで紹介される。

交付対象となった他のデイサービス事業所は次の通り。

- 小鳥の森苑（同南古都）▽アルフィック東川原（中区東川原）▽藤ヶ嶋（北区菅野）▽おかもまコープ・オルガ（同葦原町）▽西ふれあい（南区妹尾）▽北ふれあい（北区谷万成）▽うららか（南区福富東）▽ゆばの郷（中区湯迫）▽愛光苑（南区浦安本町）

（有国由花）